

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023年12月5日
作成 高齢者支援センター	忠生第1
作成者	小貫・藤永・山崎

1.開催日時	2023.11.27	(月)	15:30	～	17:00
2.会場	ふれあい桜館・オンライン				
3.主催センター	忠生1				
4.参加人数	17名				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 6人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 3人 (うち、医師 人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 6人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人		<input type="checkbox"/> 老人会 人		<input type="checkbox"/> 住民 人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人		<input type="checkbox"/> 警察 人		<input checked="" type="checkbox"/> 行政 1人
<input type="checkbox"/> その他 ()					
6.開催テーマ	地域につながるフレイル予防2(その人らしさを取り戻す)				
7.地域課題	(1)課題設定の背景				
	<p>コロナ禍における外出機会の減少に伴い、フレイルの進行等で介護保険の申請相談が増加している状況がある。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>フレイルにより介護認定を受けた利用者の意向もあって、ケアマネは介護保険サービスにつなぐ支援が多くみられる。地域のケアマネにフレイル予防の取組の1つである短期集中型サービスや社会資源を情報として理解するだけでなく、「リエイブルメントの考え方」を知ってもらうことで利用者支援に役立ててもらおう。またケアマネを通して地域の利用者にも知ってもらい、フレイル予防の取組や考え方を広めたい。</p>				
8.会議の内容	<p>①前回の振り返りと本日の会議の目的を確認</p> <p>②「地域につながるフレイル予防2(リエイブルメントの紹介)」について講義(別途資料添付)</p> <p>③グループワーク「社会資源とは何か？」をKJ法にて抽出を行った。</p> <p>④グループワーク 架空事例をもとに、日々の支援に活用できる社会資源・今はないがあればよい社会資源を出し合い、エコマップを作成してグループで共有を行った。</p> <p>⑤グループワークの内容を発表して参加者で共有を行った。</p> <p>フレイル予防(リエイブルメント)の考え方の理解を深めることができた。フレイル予防の実践に向けてリエイブルメントの視点を用いて、運動だけでなく多様な取り組みや社会資源が必要になる。そのため「社会資源とは何か？」を学ぶ機会となり、今後の利用者支援に活用できる事を共有した。</p>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>社会資源とは何かを共有し、グループワークを通して、「地域にある資源を改めて認識した」「支援に活用していくことのイメージができた」との意見が複数挙げられた。利用者支援に社会資源等も活用していくためには、今後も社会資源についての情報提供やケアマネを対象とした社会資源を活用した学習会を継続していくことが必要と考える。</p>				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日

12月 8日